

わがまち紹介

松戸市

多世代がともにいきいきと思い思いに暮らすことができるまち
やさシティ、まつど。

株式会社筑波銀行 松戸支店長
染谷 洋紀



松戸市長
本郷谷 健次氏

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとのつながりを深めるべく取り組んでいます。
「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。
今回は千葉県松戸市です。筑波銀行松戸支店長 染谷 洋紀が松戸市長 本郷谷 健次氏にお話を伺いました。

新しい時代に合ったまちづくりを

松戸市は、交通の要衝、宿場町として繁栄した歴史をもち、明治時代に東葛飾郡の郡役場が置かれるなど、地域の中心地でした。戦後の高度経済成長期に大きく成長し、現在では人口50万人を超える成熟した都市となりました。

2010年から14年間、市長として市政運営を担ってきましたが、本市はいま、大きな変革の時期を迎えています。少子高齢化の進展や共働き世帯の増加など、本市を取り巻く環境は大きく変化し、新しい時代に合ったまちづくりが必要だと強く感じています。本市の社会的な大きな課題は、「少子化・高齢化への対応」と「次世代につながる都市環境づくり」です。

子育てしやすいを目指して

社会そのものが変化する今の時代の問題解決として第一に焦点を当てたのは、「子どもたちの環境づくり」です。専業主婦が減り、働く女性が増えるなかで、より一層の女性の社会参画やファミリー世帯のサ

ポートをするには、社会全体で子育てするための仕組みづくりが必要であると考えています。

その仕組みづくりとして、まず2017年までに市内全23駅の駅ナカ・駅近に小規模保育施設を整備しました。また、保育園の充実だけでなく、幼稚園での預かり保育の拡充や保育料の差額を市が補助するなど、保護者の時間および経済的な問題を解決し、魅力的な両施設をどちらでも利用できるように整備しました。

保育士の確保にも力を注ぎ、保育士の処遇改善のため「松戸手当」の支給や各大学で周知活動をするなど、取り組みをしてきました。

保育施設等の「待機児童」の問題は10数年前から言われていましたが、本市では潜在的な保育ニーズを見越して、徹底的に保育政策を行ってきた結果、2016年から9年連続で待機児童ゼロを維持しています。

また、入園前児童の支援については、お子さんが1、2歳のころは保護者同士の交流が少ないという現状から、概ね0歳から3歳の乳幼児とその保護者が気軽に集える場として「おやこDE広場」や「子育て支援

センター」を市内28施設整備し、保護者同士の交流や子育て相談の場として利用してもらっています。



おやこDE広場・子育て支援センター

このような充実した子育て支援策が評価され、日経新聞社と日経xwoman(クロスウーマン)が発表する「共働き子育てしやすい街ランキング」において、2023年に3回目の総合編1位を受賞するなど、一定の評価が得られたと思っています。

また、本市の子育て支援は、国の子育て支援政策に先駆けた取り組みとしても知られており、岸田首相が2度視察されています。2023年6月は先進自治体を視察し国の子育て施策に活かす「こども政策対話」を子育て支援施設「ほっとるーむ八柱」で行い、2024年7月には「こども誰でも通園制度」の試行的事業施設である新松戸南部保育所で視察が行われました。

本市は2024年6月7日に人口50万人に到達したのですが、50万人目となった市民が市内で生まれた赤ちゃんだったことも、これまで取り組んできたことが認められたようでとてもうれしかったですね。

重点的に取り組んだ子どもが生まれる前の周産期から就学までの支援体制はほぼ整ってきていると思っていますので、今後は、小中高校生の居場所づくりと教育環境の整備を強化していきたいと思っています。

「地域共生社会」の実現に向けて

松戸市では、誰一人取り残すことのない「地域共生社会」の実現に向け、市内15地区が基盤となるように、町会・自治会、地区社協等を再編成しました。

急速に進む「高齢化」への対応は大きな課題です。介護が必要な高齢者のための特別養護老人ホームなど高齢者施設の整備に加え、相談窓口として「地域包括支援センター」を各地域ごとに設置しています。大切なのは医療とつながることで、本市では医師会と連携して「松戸市在宅医療・介護連携支援センター」を整備し、在宅医療と介護の連携を強化しています。

地区ごとに「まつどDEつながるステーション」という多世代が集い、交流を深める機会を設け、地域の中でお互いに助け合うという仕組みづくりに努めています。



まつどDEつながるステーション(小金地区「わくわく農園」)

他にも、地域のために何かに取り組みたいと考えている方向けに、地域のことを知ってもらい、市民活動に参加する機会を提供する「まつど地域活躍塾」を設置しています。

次世代につながる都市環境づくり

これまでの市政運営14年間で、途中コロナ禍に見舞われつつも、一つ一つ丁寧に協議を進め、次世代に繋がる都市環境づくりに取り組んできました。現在は、松戸駅をはじめ、新松戸駅や北小金駅などを中心に進めているところです。松戸駅は、松戸市の顔となる重要な駅であり、そこは2021年に都市再生緊急整備地域に指定されていますので、順次街づくりを進めていきたいと思っています。

また、江戸時代小金宿があった北小金駅は、本市の中でも歴史あるお寺などがあり、引き続き歩きやすく観光もできるまちとなるよう、市民だけでなく市外からも松戸の良さを感じてもらい、広域的な人の流れを作り出していきたいと思っています。

“街づくり”は、そこに住まう人々の生活など様々な要因を解決しながら進めていくため、10年や20年という長い期間が必要となります。時間をかけて、市民と話し合い、理解を得ながら進めていきたいと思っています。

松戸の歴史や文化を活かした交流やにぎわいづくり

地域住民にとっては、ハード面だけでなく、生活に潤いをもたらすソフト面の充実も必要です。かつて宿場町として栄えた歴史や文化を受け継ぎ、市民交流づくりの一環として2013年に始まったのが、「PARADISE AIR(パラダイスエア)」です。外国人アーティストを招聘し、松戸駅近くは無償で滞在場所を提供する代わりに、作品の制作や展示、市民と交流を行うことで、文化芸術によるまちの活性化を目指すものです。募集すると世界各国・900組を超えるアーティストからの応募があり、滞在したアーティストが松戸のPRもしてくれるので、本市にとって大きな財産になっています。

また、(国指定重要文化財)戸定邸をメイン会場として、伝統文化と現代の科学、芸術、自然を融合した国際フェスティバル「科学と芸術の丘」をオーストリアのメディアアート文化機関「アルスエレクトロニカ」とともに2018年から開催しています。

こうした取り組みは、市民発案のものが多くことが特徴です。市民の文化体験の創出やまちのにぎわいづくりのためには、市民が、愛着のある自分たちのまちで自主的にやっている、あるいはやってみたくらい活動を市がバックアップしていくことが最善だと考えています。



パラダイスエア

毎年夏に行われる「松戸宿坂川献灯まつり」も市民主体で行っている祭りです。祭りの継続開催や河川清掃、春雨橋親水広場のデザイン性が高く評価され、実施団体の「松戸市地区かわまちづくり」が国土交通大臣が表彰する2023年度「かわまち大賞」を受賞しました。

SDGsの実現には 市民の意識改革が必要

SDGsはすべてに優先する地球規模で多岐にわたる大事な課題ですが、すぐの解決が難しい問題でもあります。大切なのは、市民が主体となって取り組むということです。行政だけでは小さな力にすぎず、50万人の市民が一体となり新しい価値観に基づき行動する必要があります。

そうした市民の意識改革として、2022年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言した本市は、2023年度から「松戸市環境未来会議」を立ち上げ20人程の市民に自分たちで何ができるか議論してもらう機会を行政としてサポートしました。議論が進めば具体的な行動に発展していくでしょう。

もちろんすでに行動を起こしている面もあり、森や川を守る環境保全活動への市民の意識は高く、2024年6月1日に行われた第35回全国「みどりの愛護」のつどいでは、本市の2団体が表彰され、2025年春の第36回全国「みどりの愛護」のつどいが本市で開催されることが決定しています。

また、2022年5月に内閣府より「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定され、千葉大学予防医学センターとUR都市機構の協力のもと、

常盤平団地エリアにある看板等のサイン(チェックポイント)を歩いてめぐる健康プログラム「TOKIWALK〜ときわだいらの森を歩こう」を展開しています。

SDGsの実現に向けて一番大切なことは、やはり市民が意識を改革して生活様式を見直し、行動を起こすことだと思います。行政として取り組むべきことを行いつつ、市民の意識改革に寄り添っていければと思っています。



健康プログラム「TOKIWALK〜ときわだいらの森を歩こう」

松戸市は2023年4月1日に市制施行80周年を迎え、2024年6月に人口が50万人に到達するなど、節目の時期を迎えています。この14年間、社会の変化に対応する政策を行い、一定程度の成果が上がってきている分野もありますが、時間のかかるまちづくりという意味においては道半ばです。ですから今後も10年、20年と時間をかけて議論を重ね、市政運営を進めていきたいと考えています。

筑波銀行に期待すること

社会の変化にともない、小規模でも地域を支える「かゆいところに手が届くような」事業がこれから生まれてくるのではないかと考えています。

たとえば本市では、新たな移動手段として「グリーンスローモビリティ」が誕生しました。車両は市で貸与しますが、運転手の確保を含めた運営は走行地域で行っていただくもので、地域での買い物やグループ活動、イベント等さまざまな地域の活動に活用されています。こうした社会活動や事業が起これば、経済活動にも波及し、地域が発展していく可能性があります。

これからは地域単位で産業構造も変わってくるでしょうし、それに関連して若者のいろいろなアイデアを事業化に結びつけるようなバックアップが必要ではないかと考えています。

地域に根ざした金融機関として、若者の起業などをバックアップしていただけると、地域経済の活性化につながりますし、それとともに銀行も成長、発展していくといった相乗効果も期待できると思います。

今後も、筑波銀行と連携し、より一体となって魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

(取材日:2024年7月19日)

わがまちの 子育て支援 松戸市

このコーナーでは、「支店長のわがまち紹介」で取材させていただいた市町村の施策や事業、取り組みなどを紹介しています。

松戸市は、「やさシティ、まつど。」をスローガンに、子育てしやすい街づくりを市の最重要施策のひとつに掲げています。保育施設の充実はもちろん、親子の交流拠点の整備や医療の充実、子育て情報の発信まで、松戸市の幅広い子育て支援をご紹介します。

1 保育環境の充実

日経xwoman「共働き子育てしやすい街ランキング2023」▶総合編 第1位

待機児童9年連続ゼロ(2016年度～)

0～2歳

市内全23駅の駅ナカ・駅近等に小規模保育施設を整備

121施設
2024.4現在

千葉県内最多

3～5歳

主要駅*周辺に送迎保育ステーションを整備

10か所 2024.4現在

* 松戸駅・新松戸駅・東松戸駅・北小金駅・八柱駅

小学校1年生～

市内全小学校に放課後児童クラブと放課後KIDSルームを整備

45か所
2024.4現在



2 親子の居場所・遊び場の充実

千葉県No.1

ポイント1

0～3歳ぐらいまでの親子が気軽に集まれる施設が

28か所
2024.4現在

おやこDE広場13施設

子育て支援センター8施設

ほっとるーむ7施設



ポイント2

28施設すべてに子育てコーディネーターを配置

子育てに関する専門知識を有する市認定の利用者支援専門員(子育てコーディネーター)がさまざまな相談に対応したり、市の多様な子育て支援サービスや子育て支援機関を紹介・案内します。

ポイント3

託児機能付きのコワーキングスペース

千葉県内初

2020年度千葉県ベスト育児制度賞受賞。送迎保育ステーション付きコワーキングスペース3施設、託児施設付きコワーキングスペース2施設があります。



3 子どもの医療の充実

ポイント1

松戸市立総合医療センター



小児医療センター

「千葉大学附属病院」「千葉県こども病院」と並ぶ小児医療の中核病院
安心の365日24時間体制

周産期母子医療センター

東葛北部で唯一の地域周産期母子医療センター

夜間小児急病センター

毎日18時～23時、0歳～中学校3年生までの初期内科系疾患を対象に、小児科医が中心に診療(薬もその場で調剤)

ポイント2

病児・病後児保育及び各種医療機関

小児科57施設

産婦人科11施設

病児・病後児保育施設5か所

東葛エリア平均2.3か所、県平均1.6か所に比べ充実



ポイント3

子ども医療費助成制度

- 対象: 高校3年生相当年齢まで
- 入院1日・通院1回あたり自己負担額: 200円(住民税非課税・均等割のみ課税世帯は無料)
- 調剤: 無料
- ※入院11日目・通院6日目以降の自己負担額は無料(同一月・同一医療機関)

4 子育て応援・情報発信の充実

ポイント1

幼児同乗用自転車の購入支援・助成

未就学児が2名以上いる家庭を対象に幼児同乗自転車購入費の購入金額の1/2(上限5万円)を助成。



ポイント2

3世代同居等住宅取得支援

中学生以下の子どもがいて、市内に住む親世帯と近居または同居するために、住宅を取得するための費用の一部(最大100万円)を補助。東葛エリアで松戸市だけ

ポイント3

松戸市子育て情報LINE公式アカウント

松戸市から子育てに役立つ情報をLINEでお届けします。

- ①子育てに関するイベントや新しい制度、支援など、自分が選んだ欲しい情報をタイムリーに受信
- ②現在地や選んだ場所から、子育て関連施設の検索が可能
- ③トーク画面下の「リッチメニュー」から知りたい情報に素早くアクセス

